



第 38 回日本自然災害学会学術講演会に参加しました(2019/9/21-22)

場所：釧路市生涯学習センター（北海道釧路市）

参加者：佐藤准教授，門廻助教，保田プロジェクト講師，宮本助手，倉本（M2），芹川（M1）

2019年9月20-22日に第38回日本自然災害学会学術講演会が、北海道釧路市の釧路市生涯学習センターで行われました。本研究室からは、佐藤翔輔(准教授)，門廻(助教)，保田(プロジェクト講師)，宮本(助手)，倉本(M2)，芹川(M1)が研究発表を行いました。発表題目は以下の通りです

○佐藤翔輔	1967年羽越水害の伝承と「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」
○門廻充侍， <u>今村文彦</u>	東日本大震災における宮城県内での犠牲者住所・遺体発見場所およびそのタイプの分類解析
○保田真里， <u>邑本俊亮</u>	災害に対する自己対応意識の変化 -児童の防災学習を通して-
○宮本龍， <u>Anawat Suppasri</u> ， <u>今村文彦</u>	任意の建物情報を反映した津波損傷度評価に関する検討
○倉本和俊， <u>牧野嶋文泰</u> ， <u>Anawat Suppasri</u> ， <u>今村文彦</u>	遺伝的アルゴリズムを用いた沖合観測網の最適配置探索手法
○芹川智紀， <u>門廻充侍</u> ， <u>Anawat Suppasri</u> ， <u>今村文彦</u>	東日本大震災における犠牲者住所に基づく死因の空間分布 -宮城県石巻市の事例-

○が発表者，下線が本研究室所属



佐藤翔輔准教授



門廻充侍助教



保田真里プロジェクト講師



宮本龍助手



倉本和俊 (M2)



芹川智紀 (M1)
(文責：芹川)